

子どもは本で伸びる



◀「この本にしようかな」
(図書館ブックセカンド)



大山町教育委員会では、合併後「大山町子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書活動に積極的に取り組んできました。さらに平成19・20年度は、文部科学省からモデル地域の指定を受けて、町ぐるみで「読む・調べる習慣の確立に向けた実践研究事業」を実施しました。

子どもたちの読書を習慣づけ、読む・調べる意欲を高めるために、保護者への支援と啓発、環境整備、関係者のスキルアップなどを図る実践です。
2年間の取り組みを振り返り、子どもたちが読書に親しむようすを紹介합니다。



◀大型絵本を楽しむ
(上中山保育所 図書館訪問)

◆図書館で「ブックセカンド」

新事業として、3歳児とその保護者に絵本と絵本リストをお渡しする、ブックセカンドを始めました。ブックスタートに続く家庭での読み聞かせを支援するフォローアップ事業です。図書館の利用を習慣にしたい、司書が絵本を紹介したり、読んだりしながら、子

どもたち一人ひとりに絵本を手渡します。保護者に読み聞かせについてのアドバイスをする機会が生まれました。図書館にあるいろいろな絵本の出会いで、子どもの読書の幅が広がります。

この委託事業で本館、分館あわせて370冊の本を購入し、3歳児におすすめの絵本や、幼年童話のコーナーを新たに設

置しました。前からあった赤ちゃん絵本コーナーも、さらに蔵書を増やしました。ブックセカンドをきっかけに、リピーターになるご家族が増えていきます。

図書館では、本館分館ともに定期的にお話会や子どもを対象にした催しを開いているほか、学校や保育所へのサービスにも力を入れています。



▲昼休みの貸し出し (中山中学校)

2009/02/24